

平和・環境・健康はひとつ「故きを温ね 新しきを知る」

「温故知新と新文明の創造」 大脇準一郎

承前

加藤春一会長 江島優会長 事業と文化活動

小松社長：半生と26年の活動 事業と文化活動

大脇：半生と20年の活動

1)、個の確立(求道) 2)、愛国救世運動(学生・教授・有識者) 3)、国際奉仕活動(米国、ブラジル・パラグアイ・カリブ諸国) 4) 知的ボランティア活動(未来構想戦略フォーラム・地球市民機構：市民国連)

今回のZoom会議のテーマに対して

1、 トインビーの教訓

第1次世界大戦勃発とツキジデス 「歴史は現在に生きている」(歴史は繰り返す)

現代への挑戦と応戦

1) 戦争 2) 人為的環境 3) 社会的不公正(自由か平等か?) 4) 人口の爆発

3) 創造力(イノベーション、インスピレーション) 問題解決の方法論：KJ法

応戦の4つのタイプ(「一歴史家の宗教観」)

	パターン	偶像	コメント
1	現実逃避	科学信仰(金銭崇拜)	現実の打開、現状の理解と創造
2	過去逃避(復古主義)	英雄(皇帝崇拜)	温故知新、大化の改新、明治維新 文芸復興と宗教改革、啓蒙思想とリバイバル
3	未来逃避	共産主義	、
4	変貌	自己崇拜(エゴイズム)	悟り(空・無、行・祈り) ビジョン

大切な心構え：1) 現実を見つめる勇氣 2) 冷徹な知性と素直な著働

3) 創造力(イノベーション、インスピレーション) 問題解決の方法論：KJ法

2、 伽耶国と日本

鉄の王 首露王 金官伽耶 (42-562) 日本神話との関係 日韓関係

聖明王 仏教伝来 善光寺 飛鳥 聖徳太子の母 法隆寺 百済観音像

桓武天皇の母 百済・新羅・高句麗と戦争(国内、日韓・朝関係) 天皇の里帰り

『日韓共鳴二千年史』名越二荒之助

アーノルド・J・トインビーの名言

1 歴史とは

1)、現代人は何でも知っている。ただ知らないのは、自分のことだけだ。

すべての歴史は、一つの言葉に集約できる。成功ほど失敗する者はない。

人間とは歴史に学ばない生き物である。

私たちは過去における経験は未来を照らす唯一の光である。

文明は一つの運動であり、状態ではなく、また航海であって、港ではない。『試練に立つ文明』

どの時代の歴史を扱う場合でも、感情を交えず、偏見を持たないことは、歴史家にとってつねに不可能なことだと思う

2)、文明が挫折する根本の原因は、内部の不和と分裂である。

創造的な人間が、ある事業を成就したのちにおちいりがちな受動的な錯誤は、昔大いに努力したから、「その後はずっとしあわせに暮らす」資格があると夢想して、愚者の楽園で「漕ぐ手を休める」ことである

3)、言葉、文明、文化というものは、人間はどうして有限のものばかりを、追いかけてしまうのだろうか。

もっと無限のものの追求の喜びを知るべきだ。

宗教は、宇宙の構図を示すとともに、人間の行動に指針を与える。

宗教の創始者たち(イエス、ブッダ、老子)は、宇宙の本質とは何か、精神的な本質とは何か、現実の本質とは何かについては、それぞれ独自の考えをもっていて相いれなかった。しかし、**道徳的な教えに関しては、彼ら全員が一致している。たとえば、物質的な富の追求は間違った目的であるという解釈である。また、没我性と他者への愛を持つことこそが、人生における幸せと成功の鍵であると口をそろえていっている**

2、人間とは

1)、魂はいずれも、善と悪とが支配権を争って絶えず戦っている、精神的戦場である。

あらゆる生物は本来、自己中心的であり、貪欲ですから、**権力を握った人間は、その掌中にある人々の利益を犠牲にしても、なおその権力を己の利益のために乱用したいという強い誘惑にとらわれるものです** (人間の運命は)次に起こす行動によって、良くも悪くも変えることが出来る。

2)、文明、文化というものは、寒冷の地とか、貧しいところとか、環境の悪いところから起きている

我々の精神は、鋭い刃を残している限り、肉体的な限界に拘束されはしない

宇宙飛行士の冒険心と勇気は全面的に賞賛すべきものだ。しかし、ここで想起せねばならないのは、何百人、何千人という科学者、技術者の熟練、苦勞、献身、忠誠の支援がもしもなかったとしたら、宇宙飛行士という人類のスターは地面を飛び立つことすらできず、まして月に到着することも無事帰還することもできなかつたということである。**地上で働くこの無数の功勞者の業績の方が、宇宙飛行士の功績より倫理的にはずっと感動的なのである。**

人間はこれまで、技術面にかけては驚くほど豊かな才能を示し、総意も発揮してきましたが、**こと政治にかけては逆に、驚くほど能力も創意も示していません**

3) ベストを尽くせばいいんだ。それ以上のことは誰にもできはしない

ベストを尽くすことを常に目指してチャレンジしていくことです。結果はそのチャレンジに必ずついてきます。

結果は誰にもコントロールすることはできませんが、目の前の今のアクションは自由にコントロールすることができます。そこにこそ全意識を集中させることがベストを尽くす第一歩でしょう。また**目の前に集中するか**

らといって、視線が足元に落ちていてはベストを尽くせません。目の前の今のアクションは、創りたい未来を創造するためのものでなければベストを尽くすことになりません。

未来を見据えることは、未来の結果を気にすることでもありません。

ひたすら創造したい未来をイメージしていくことです。

できるだけ遠い未来を考えて、人生を生きなさい。

尽くすベストもどんどん進化するはずです。立ち止まることなく常にベストを尽くし続けていくチャレンジをしていってください。それでこそあなたの素晴らしい才能がさらに輝いていくことになりますよ。

何事も、熱意を持たない限り、立派な仕事はできません。

3、国家と世界

1)、私が最大の忠誠心を払うのは人類に対してであって、私の属する国家に対してでもなければ、この国家を支配している体制に対してでもありません

2)、国家主義精神は、種族主義という古いつばの中で民主主義という新しい酒をつくるための酵母である。

アメリカは狭い部屋にいる大きな人なつこい犬だ。しっぽを振るたびに椅子をひっくり返す。

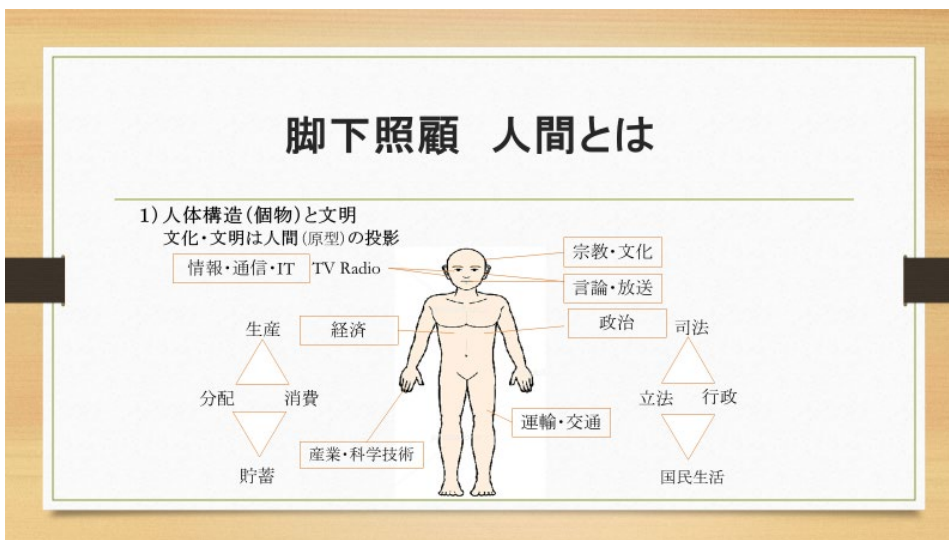
3)、日本人が歴史上残した最大の業績は、世界を支配していた西洋人が「不敗の神」ではない事を示した点である。

第二次世界大戦において、日本人は日本のためよりも、むしろ戦争によって利益を得た国々のために、偉大な歴史を残した。それらの国々とは日本の掲げた短命な理想、大東亜共栄圏に含まれた国々である日

4 日本の使命

私に言わすむれば、新生国家日本の使命は何かというと、独立国家としての生活を始めたばかりの、現今世界の諸国民に、その教訓を分け合うことである。……

5、人間・思想・ビジョン



時間軸：歴史 空間軸：世界
観 機能軸：価値観 物事は
総合的、多面的/全体的・長期
的に見なくてはならない。

西洋の東洋、

支配から東西文明の融合へ

核分裂⇒核融合 病原菌の敵視・
殲滅⇒共生・包摂（善玉菌・悪玉
菌・日和見菌）保守と革新（自由
と平等、右翼・左翼）頭翼思想、

家族主義（父母の愛が中心）貧富の差⇒富（利潤）とは？＝ニードに答えた報酬（満足量を貨幣表現したもの）精神的満足を捨象して経済的価値のみを唯物的に扱っている。マルクスの労働価値説。 恩田 奎の財政改革の鍵。物心一如

滅びる民族の3原則。

- 1.理想を失った民族は滅びる(12歳までに民族の神話を学ばなかった民族は、例外なく滅んでいる)」
- 2.すべての価値を物やお金に置き換え、心の価値を見失った民族は滅びる
- 3.自国の歴史を忘れた民族は滅びる

滅びる会社の3原則

- 1.理想を失った会社は滅びる。2.
- すべての価値を物やお金に置き換え、心の価値を見失った会社は滅びる3.
- 自社の歴史を忘れた会社は滅びる

自社の存在意義や使命は何か。「何のために働く」のか。創業から今日までの「歴史」、事業や商品の「物語」。ミッシヨナリー・カンパニーは滅びない。

- トインビー「歴史の研究」が预言する日本没落の可能性

「どんな高度な文明でもいつか必ず内部的に壊れ、没落する」滅んだのは技術の進歩、革新が遅れたからではない。それは文明内部から起こる「慢心」が原因。過去の文明の没落史を見ることで、現代文明没落の可能性を見ている。

文明は最初は小さな異端的集団から発生し、次第に巨大化して一つの文明圏を作る。最初の頃は創造力にあふれ、人々の生活は活気に満ちたものになる。トインビーはこれを、「挑戦と応戦」「遭遇」と言う。

だが、その応戦力も成果を上げるようになると、やがて慢心によるマンネリ化を産む。欠乏は創造の原動力であるが、満腹は怠惰を生み、創造力をそいで行く。こうして、文明没落の萌芽が現れてくるというのだ。

かつての日本が発展した歴史を見れば、明治維新以降、日本は「西洋に追いつけ、追い越せ」のかけ声で世界第二の経済大国にまでのしあがった。それは文明開化で知った自分たちの貧しさを「挑戦」と受け止め、より良き社会をめざして「応戦」した結果にほかならない。

しかし、今、その頂点にまで登り詰めて、登るべき山の頂も足下になってしまった日本は、目標を失ってしまった感がある。楽して金を儲ける拝金主義が横行し、怠惰が蔓延する。

トインビーは成熟期の文明は中から腐り始めるが、その文明の恩恵が及ばない辺境では新たな動きが現れ、それがやがて力を付けると、自分たちを抑圧していた文明を滅ぼして新たな力強い文明を作り上げていると言っている。